

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 Radiomics を用いた肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法の治療効果予測法開発に関する後ろ向き研究
	●研究の対象 2017年7月から～2021年6月までの期間に当院で肝がんに対してカテーテル治療を受けられた20歳以上の方 150名
	●研究の目的 肝がんの治療には、肝切除、ラジオ波焼灼術、カテーテル治療、抗がん剤（分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬）、移植などがあり、病変のサイズや個数、肝予備能等に応じて治療法を選択しています。これらの治療法のうち、カテーテル治療や抗がん剤治療が対象となる患者さんの中にはこれら複数の治療法が選択肢となる方がみえますが、現在のところ治療開始前にどの治療が最も効果が得られるか、を予測する方法はありません。この研究では、カテーテル治療を受けた患者さんのカルテや画像データから、カテーテル治療がよく効く患者さんとあまり効かない患者さんに、どのような画像的違いがあるかを見つけだし、治療前に画像を用いて治療効果予測をする方法を開発することを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から2026年3月まで
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>情報：病歴、治療歴、治療効果、身体所見、血液・病理検査データ、CT、MRI 画像 等</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 放射線診断学講座 棚橋 裕吉</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 放射線診断学講座 棚橋 裕吉</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

部署名： 放射線診断学講座

担当者： 棚橋 裕吉

TEL： 053-435-2242

E-mail： ytana@hama-med.ac.jp